イワタ新ゴシック体 L かな E 45Q

かなの多様なバリエーション

イワタ新ゴシック体RかなE 450

かなの多様なバリエーション

イワタ新ゴシック体 M かな E 45Q

かなの多様なバリエーション

イワタ新ゴシック体 B かな E 45C

かなの多様なバリエーション

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の 隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。とう に電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も 乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗いプラットフォ オムにも、今日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、 唯、檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しそうに、吠え 立てていた。これらはその時の私の心もちと、不思議な 位似つかわしい景色だった。私の頭の中には云いようの ない疲労と倦怠とが、まるで雪曇りの空のようなどんよ

ア新ゴシック体 U かな C 95Q

イワタ新ゴシック体 H かな C 95

イワタ新ゴシック体 E かな C 95Q

## こ元 そ言 揺こ と気 よの れる で葉 れる

イワタ新ゴシック体 L かな C 45Q

かなの多様なバリエーション

イワタ新ゴシック体 R かな C 45Q

かなの多様なバリエーション

ワタ新ゴシック体 M かな С 45Q

かなの多様なバリエーション

イワタ新ゴシック体 B かな C 45Q

かなの多様なバリエーション